

静岡県立大学
食品栄養科学部

環境生命科学科 主催

2016年度 環境サマースクール

考えてみよう、未来の自分、未来の環境

夏休みに静岡県立大学で実習体験してみよう

1. 研究室訪問（8/5午前）
2. 環境生命科学関連実習体験（2テーマから選択）
（8/5午後～8/6）

日時：平成28年8月5日（金）～6日（土）

場所：静岡県立大学食品栄養科学部2号棟1F

静岡市駿河区谷田52-1

対象：高校生、定員：30名（先着順）

問合せ先：

雨谷敬史(054-264-5798), 原 清敬(054-264-5659)

envi@u-shizuoka-ken.ac.jp

ご応募方法は、静岡県立大学のインターネットサイトでご案内致します。

8/5 午前:研究室訪問

研究室名	研究内容
植物環境研究室	植物が空気をきれいにする能力や、植物が発する香りの役割などについて研究しています。
物性化学研究室	農薬として利用されている有機リン剤の生体や環境への影響を、細胞や酵素反応を用いて調べています。
大気環境研究室	身近な空気中に存在する有害化学物質が何か、またその濃度や量をクロマトグラフィーなどを用いて調べています。
水質・土壌環境研究室	水や土壌に含まれる有害微量元素(水銀やカドミウム等)に着目して、それらの発生源や環境中での挙動を研究しています。
光環境生命科学研究室	紫外線や化学物質などの環境因子がもたらす変異と発がんや老化との関係について研究しています。
環境微生物学研究室	新しい有用な微生物を捕まえて環境保全に利用したり、湖や河川の微生物を調べて生態系への影響などを調べています。
生態発生遺伝学研究室	個体・集団間でみられる遺伝的脆弱性による環境要因に対する応答性の差異の分子機構について研究しています。
環境生理学研究室	からだの内なる外部環境—消化管—の生理機能とその制御機構を生理学・形態学・分子生物学的に研究しています。
生体機能学研究室	環境・社会的ストレスの生体への影響について、特に光環境ストレスに着目して研究しています。
環境工学研究室	環境や健康、食料生産に役立つ物質を、微生物の力を利用して、環境に優しい方法でつくる研究をしています。

8/5 午後～8/6:体験実習

テーマ(どちらかを選択)

1. 環境・食品中における生物検査

(内容) 環境中には多くの生物が存在します。また、ヨーグルトなどの食品中にも乳酸菌などの微生物が多く存在します。普段我々は、その存在を意識しませんが、発光反応を用いることで、光として視覚的に認識することができます。



2. 呼吸や燃焼により発生する物質の測定とその評価

(内容) 呼吸や燃焼により生成する二酸化炭素、二酸化窒素の濃度を測定します。さらに、これらの物質の発生速度を調べることで、発生量を算出することができます。得られた結果より、呼吸や燃焼が地球環境に与える影響について定量的に考えます。

